



## 平成30年9月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年5月11日

上場会社名 株式会社フーマイスターエレクトロニクス  
 コード番号 3165 URL <http://www.fuco-ele.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 武石 健次

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 藤田 和弘

TEL 03-3254-5361

四半期報告書提出予定日 平成30年5月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成30年9月期第2四半期の連結業績(平成29年10月1日～平成30年3月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第2四半期	18,778		170		255		272	
29年9月期第2四半期								

(注) 包括利益 30年9月期第2四半期 265百万円 ( %) 29年9月期第2四半期 百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年9月期第2四半期	110.56	
29年9月期第2四半期		

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年9月期第2四半期	15,745		6,043		38.4	
29年9月期	18,486		6,517		34.6	

(参考) 自己資本 30年9月期第2四半期 6,043百万円 29年9月期 6,405百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年9月期		0.00		35.00	35.00
30年9月期		0.00			
30年9月期(予想)				35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成30年9月期の連結業績予想(平成29年10月1日～平成30年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	24.7	120		100		60	421.9	24.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有  
新規 1 社 (社名) SRエネルギー匿名組合2号 、 除外 1 社 (社名) SRエネルギー匿名組合
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年9月期2Q	2,529,100 株	29年9月期	2,529,100 株
期末自己株式数	30年9月期2Q	67,739 株	29年9月期	67,739 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年9月期2Q	2,461,361 株	29年9月期2Q	2,461,393 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) キャッシュ・フローの状況の分析 .....	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書 .....	6
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(平成29年10月1日～平成30年3月31日)における世界経済は、米国では緩やかな回復基調が続きましたが、北朝鮮情勢等の地政学的リスクは依然流動的で先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループが参入しております電子部品業界は、車載用途向け電子部品の市場は堅調を維持しているものの、スマートフォン市場の伸びが鈍化しております。

このような環境の中、当社グループにおきましては、既存取引の強化及び太陽光セカンダリ事業等の新規事業の推進や取扱い商品の拡大に取り組み、業績の向上を目指してまいりましたが、LCDモジュールの売上が大幅に減少し、スマートフォン向け半導体の売上も減少いたしました。

この結果、売上高は187億78百万円となり、売上高減少に伴い営業損失は1億70百万円となりました。為替変動による為替差損が1億82百万円発生しましたが、固定資産売却益を1億44百万円計上したことなどにより、経常損失は2億55百万円となりました。また、関係会社株式売却損14百万円を計上したことなどにより、親会社株主に帰属する四半期純損失は2億72百万円となりました。

(注)前連結会計年度末から連結財務諸表を作成しているため、前年同期比は記載しておりません。

当第2四半期連結累計期間におけるセグメント別概況は以下のとおりであります。

#### ① 電子部品関連事業

当第2四半期連結累計期間における電子部品関連事業の売上高は、186億94百万円となりました。

##### a. 半導体事業

白物家電、車載機器、PCバッテリー監視用途向け半導体の需要が底堅く推移し、当社販売も好調に推移いたしました。一方、当社取扱い製品が採用されているスマートフォンの販売は前年度モデルと比較し鈍化傾向にあり、当社製品売上高も減少する結果となりました。

LCDモジュール事業は、顧客・仕入先と緊密な関係を維持し、顧客ニーズに対応した新たな技術動向の紹介等の営業活動や保守需要の取り込みに努めましたが、売上は大幅に減少いたしました。

また、インダストリアルシステム事業等の新規事業は進捗が遅れております。

この結果、売上高は112億66百万円となりました。

##### b. パネル事業

パネル事業は、スマートフォンへの需要シフトにより、国内のパソコン市場は縮小傾向が続いておりますが、顧客・仕入先との緊密な連携を維持し、顧客の需要の変動に対応できたことにより販売の減少を最小限に抑えることができました。デスクトップモニター市場では、大型・高付加価値モデルの拡充に努め、売上は堅調に推移いたしました。パブリックディスプレイ市場では、大型・高精細モデルとビデオウォールの分野の販売が順調に推移しました。

この結果、売上高は64億65百万円となりました。

##### c. 電子材料事業

電子材料事業は、導光板用PMMAレンジの販売は順調に推移しましたが、有機EL用封止材は顧客のシェアダウンにより受注が伸び悩みました。

この結果、売上高は9億62百万円となりました。

#### ② 太陽光発電関連事業

太陽光発電関連事業は、稼働済の当社小松ヶ丘太陽光発電所、旭第一太陽光発電所、旭第二太陽光発電所とも、例年並みの発電量となりました。

この結果、売上高は84百万円となりました。また、太陽光セカンダリ事業の一環として、かぶちゃんフーコ合同会社を営業者とするSRエネルギー匿名組合2号を設立しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の資産は、現金及び預金が1億73百万円増加したこと、商品が12億75百万円増加したこと、売掛金が28億54百万円減少したこと等により、157億45百万円（前連結会計年度末比27億40百万円減）となりました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末の負債は、短期借入金が15億73百万円、買掛金が5億63百万円減少したこと等により、97億2百万円（前連結会計年度末比22億66百万円減）となりました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は、親会社株主に帰属する四半期純損失により利益剰余金が2億72百万円減少したこと、剰余金の配当に伴う利益剰余金の減少が86百万円あったこと、非支配株主持分が1億12百万円減少したこと等により、60億43百万円（前連結会計年度末比4億74百万円減）となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、12億64百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動の結果得られた資金は、8億65百万円となりました。

これは主に、たな卸資産の増加額12億75百万円、売上債権の減少額28億54百万円、仕入債務の減少額5億63百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果得られた資金は、11億91百万円となりました。

これは主に、有形固定資産の売却による収入12億38百万円、有形固定資産の取得による支出40百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出14百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動に使用した資金は、18億36百万円となりました。

これは主に、短期借入金の純減少額15億64百万円、長期借入金の返済による支出60百万円、配当金の支払いによる支出86百万円、非支配株主への配当金の支払額1億22百万円等によるものであります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年9月期通期の連結業績予想につきましては、平成30年2月9日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。なお、太陽光発電設備の売却及び為替相場の動向がより明確になり、業績予想を見直す必要が生じた場合には、適時に見直し数値を開示する予定であります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,093,223	1,266,773
受取手形及び売掛金	9,064,147	6,210,014
商品	3,137,614	4,412,835
前渡金	556,854	652,955
繰延税金資産	68,499	62,734
その他	441,123	123,960
流動資産合計	14,361,462	12,729,273
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	677,481	670,513
減価償却累計額	△335,314	△337,342
建物及び構築物(純額)	342,166	333,171
機械装置及び運搬具	1,932,609	1,446,478
減価償却累計額	△411,693	△281,642
機械装置及び運搬具(純額)	1,520,915	1,164,836
工具、器具及び備品	106,332	104,536
減価償却累計額	△86,602	△87,619
工具、器具及び備品(純額)	19,729	16,916
土地	957,340	957,340
リース資産	45,373	49,818
減価償却累計額	△33,092	△35,836
リース資産(純額)	12,280	13,981
建設仮勘定	150,000	—
有形固定資産合計	3,002,432	2,486,247
無形固定資産		
のれん	595,515	—
その他	8,562	7,589
無形固定資産合計	604,078	7,589
投資その他の資産		
投資有価証券	108,615	103,064
従業員に対する長期貸付金	16,730	17,386
長期貸付金	200,000	200,000
その他	193,592	202,427
投資その他の資産合計	518,938	522,879
固定資産合計	4,125,450	3,016,716
資産合計	18,486,912	15,745,989

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成30年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	2,973,808	2,410,651
短期借入金	7,263,725	5,690,000
1年内返済予定の長期借入金	120,000	120,000
未払法人税等	47,192	2,841
賞与引当金	33,784	27,160
役員賞与引当金	20,000	—
その他	104,624	112,525
流動負債合計	10,563,135	8,363,178
固定負債		
長期借入金	660,000	600,000
繰延税金負債	201,068	167,394
退職給付に係る負債	104,878	115,102
役員退職慰労引当金	368,754	376,714
資産除去債務	33,563	34,569
その他	37,971	45,623
固定負債合計	1,406,235	1,339,403
負債合計	11,969,371	9,702,582
純資産の部		
株主資本		
資本金	550,450	550,450
資本剰余金	2,382,670	2,382,670
利益剰余金	3,474,955	3,116,674
自己株式	△41,201	△41,201
株主資本合計	6,366,874	6,008,593
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	38,664	34,813
その他の包括利益累計額合計	38,664	34,813
非支配株主持分	112,001	—
純資産合計	6,517,541	6,043,407
負債純資産合計	18,486,912	15,745,989

## (2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
売上高	18,778,157
売上原価	18,352,524
売上総利益	425,633
販売費及び一般管理費	596,055
営業損失(△)	△170,421
営業外収益	
受取利息及び配当金	6,403
受取家賃	18,973
固定資産売却益	144,236
その他	7,461
営業外収益合計	177,074
営業外費用	
支払利息	36,983
為替差損	182,983
支払手数料	27,180
その他	15,087
営業外費用合計	262,236
経常損失(△)	△255,582
特別損失	
固定資産除却損	116
関係会社株式売却損	14,050
特別損失合計	14,167
税金等調整前四半期純損失(△)	△269,750
法人税、住民税及び事業税	18,411
法人税等調整額	△26,208
法人税等合計	△7,797
四半期純損失(△)	△261,952
(内訳)	
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△272,132
非支配株主に帰属する四半期純利益	10,180
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△3,851
その他の包括利益合計	△3,851
四半期包括利益	△265,803
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	△275,984
非支配株主に係る四半期包括利益	10,180

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年10月1日 至平成30年3月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△269,750
減価償却費	51,077
のれん償却額	11,851
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△170
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,624
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△20,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	10,223
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	7,960
長期前払費用償却額	2,008
差入保証金償却額	424
受取利息及び受取配当金	△6,403
支払利息	36,983
為替差損益(△は益)	35,957
有形固定資産売却損益(△は益)	△144,236
有形固定資産除却損	116
関係会社株式売却損益(△は益)	14,050
売上債権の増減額(△は増加)	2,854,132
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,275,221
仕入債務の増減額(△は減少)	△563,156
その他	212,968
小計	952,194
利息及び配当金の受取額	6,318
利息の支払額	△36,801
法人税等の支払額	△56,661
営業活動によるキャッシュ・フロー	865,050
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	
定期預金の預入による支出	△0
有形固定資産の取得による支出	△40,310
有形固定資産の売却による収入	1,238,621
従業員に対する長期貸付金の回収による収入	3,197
預り保証金の返還による支出	△390
差入保証金の差入による支出	△2,318
差入保証金の回収による収入	6,709
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	△14,050
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,191,459
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	
短期借入金の純増減額(△は減少)	△1,564,980
長期借入金の返済による支出	△60,000
リース債務の返済による支出	△2,959
配当金の支払額	△86,061
非支配株主への配当金の支払額	△122,182
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,836,182
現金及び現金同等物に係る換算差額	△46,777
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	173,550
現金及び現金同等物の期首残高	1,091,200
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,264,750

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間(自平成29年10月1日至平成30年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結財務諸表計上額 (注)
	電子部品関連事業	太陽光発電関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,694,156	84,000	18,778,157	—	18,778,157
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	18,694,156	84,000	18,778,157	—	18,778,157
セグメント利益	397,268	28,365	425,633	—	425,633

(注) セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の売上総利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

「太陽光発電関連事業」において、SRエネルギー匿名組合の太陽光設備の売却を行い、出資金の返還を受け、連結の範囲から除外したことにより、のれんの金額が595,515千円減少しております。